



駆けつける

避難所を巡回し診療する医療救護班

災害救護活動 < 広島県土砂災害 >

医療救護班17班を派遣、救援物資を配布

日本赤十字社は、8月20日未明の記録的な豪雨により大規模な土砂災害が発生した広島市の被災地に、中国・四国ブロックから17班の医療救護班を派遣し、避難所での巡回診療や「こころのケア」を行ったほか、救援物資を配付するなど、多岐にわたる活動を行いました。

広島県土砂災害をはじめとする、国内災害への義援金は日赤石川県支部でも受け付けています。



救援物資を運びこむ赤十字職員と防災ボランティア

国際活動 < エボラ出血熱 >

今年2月に西アフリカから発生したエボラ出血熱は、これまでにない感染者数を記録しています。赤十字は、感染症専門医の派遣のほか、医療従事者への感染防護服や医療資機材の物資支援、病気に関する正しい知識の普及などを実施しています。



日本赤十字社から派遣された感染症専門医(中央)

災害に備えて炊き出し 防災ボランティア×青少年赤十字(JRC)



専用の袋(ハイゼックス)を使って災害発生時の炊き出し体験

日赤石川県支部では、赤十字防災ボランティアの指導のもとJRCメンバーが炊き出し訓練を行うなど、災害に備えた活動の輪を広げています。